

臨床研究内容 ホームページ公開用

1. 研究課題名称

自動車運転再開支援を実施した急性期後天性脳損傷者の神経心理学的検査に基づいたクラスタリングおよび患者特性の検討

2. 研究の背景・目的

自動車運転は我々の生活において欠かせない移動手段の 1 つです。近年、脳卒中や脳外傷などの後天性脳損傷者の自動車運転再開のニーズが高まっています。脳卒中や外傷性脳損傷者の運転能力評価に関する有益な神経心理学的検査は、遂行機能系、知覚・認知系(視覚も含む)、注意・記憶系、言語系の 4 領域に分類されています。後天性脳損傷者の自動車運転再開には、様々な予測が用いられてきました。特に路上運転では「注意機能」と「視空間認知機能」が重要です。しかし、運転再開の可否を予測する単一の検査は特定できておりません。一般的に後天性脳損傷後の自動車運転再開の支援や評価は、路上評価と病院内における実車評価前の神経心理学的検査を組み合わせ実施されます。路上評価は、病院退院後に訓練を受けた教官による指定教習所にて実施されます。しかし、確実な支援方法は未だに確立されていません。両者を組み合わせ適切に判断することが重要ですが、臨床での神経心理学的検査に依存した判断には限界があります。特に超高齢化社会を迎えた日本においては、加齢に伴う多面的な要因を考慮して運転の支援を行う必要があります。在院日数の短い急性期における高齢者を対象とした軽症後天性脳損傷者における自動車運転再開のエビデンスが乏しく、これらを考慮した研究は行われていないため検討する必要があります。

本研究の目的は、後天性脳損傷者の自動車運転再開の支援者における神経心理学的検査に基づいたクラスター化を行い、患者さんの特性を分析することです。

3. 対象者および期間

対象は、脳卒中や脳外傷によって当院にて治療を行った後天性脳損傷者とします。当院退院後に運転再開の希望があり、運転再開の支援を行った者を調査します。期間は、2019年6月～2024年3月までの対象者を調査・研究します。

4. 研究内容

後天性脳損傷者の入院加療中の総合的な評価を調査します。また、臨床評価として診断名や重症度、身体機能や能力を評価します。さらに、神経心理学的検査を調査します。神経心理学的検査を基にクラスター分類を行い、対象者を類型化します。その後、類型化された群を基に群間比較を行い分析します。

5. 個人情報の管理について

データの集計の際は患者名をコード化し、個人を特定できないように配慮します。

6. 研究期間

2024年8月から2025年3月まで実施します。

7. 医学上の貢献

後天性脳損傷者における神経心理学的検査を基に類型化した対象者が類型化できた場合、日常臨床において新たな取り組みができることが示唆され今後入院される患者さんの治療成績向上に役立つものと考えます。

8. 研究機関

製鉄記念八幡病院リハビリテーション部

9. 連絡先（研究責任者）

上記研究対象期間において該当になる方で研究に対して不都合がある場合や研究に対してご不明な点がございましたら下記の連絡先まで連絡をください。

製鉄記念八幡病院リハビリテーション部 原山永世
〒805-8508 北九州市八幡東区春の町 1-1-1 TEL:093-671-9318